

マ/ウラ双方にクローズ・ハイハット [Vel=110] をそれぞれ配置します。2小節2拍目ウラのクローズ・ハイハットはスウィングのウラに相当するので、ここにクオンタイズ [スウィング比率=75%] を掛けます (Fig023)。

次にバス・ドラムです。1・2小節のアタマに [Vel=127]、1小節2拍目と2小節3拍目に [Vel=90]、1小節3拍目8分ウラに [Vel=90] で配置。1小節3拍目ウラのバス・ドラムがやはりスウィングのウラに相当するので、これをクオンタイズ [スウィング比率=75%] させます (Fig024)。

そしてスネアですが、今回は

サイド・スティック (リム・ショット) を使いたいと思います。これはスネアの縁の部分でドラム・スティックで「カンッ!」と叩く奏法で、感情を抑えた表現をしたいときなどに使用されます。1小節2拍目8分ウラ、および2小節アタマにそれぞれ [Vel=110] で配置してみましょう。1小節のサイド・スティックにはやはりクオンタイズ [スウィング比率=75%] を掛けます (Fig025)。

最後に、今作成した2小節を4小節分コピー&ペーストしましょう。これで「ワルツ(ジャズ・ワルツ)」の4小節パターンが完成です (Fig026)。

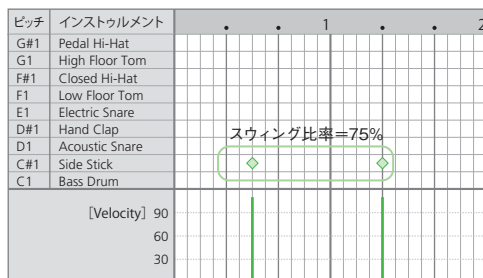
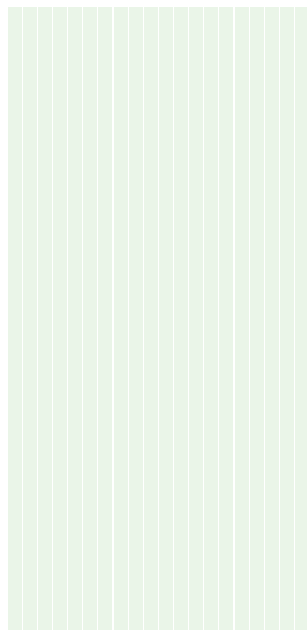


Fig025 ドラム・マップ(スネア:2小節) 021.wav

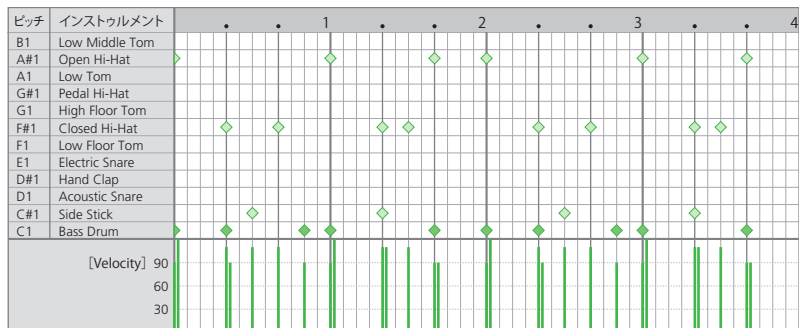


Fig026 ドラム・マップ(4小節) 022.wav